

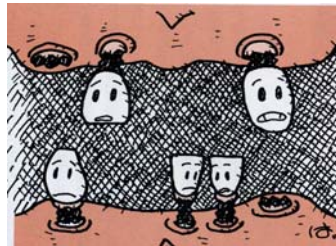


残根歯は、**根だけが残っている歯はそのままで大丈夫なの？**

残根歯とは
写真のように、特に歯の根元部分の虫歯が進行して歯が折れてしまい、根だけになった状態を「残根」といいます。



残根は特に高齢者に多く見られる状態です。その理由として、高齢による歯肉の退縮があります。これにより虫歯に対して弱い性質のセメント質が露出し歯の根元部分がぐると虫歯になり易くなってしまいます。さらに、唾液の減少による口腔内の自浄作用の低下も、虫歯を進行させる要因となります。



残根歯を放置すると・・・

残根には食べかすが付きやすく、放置していると歯茎に炎症を起こして口の中には菌が溜まってしまいます。炎症(歯肉炎)は更に進行すると歯周病(歯槽膿漏)へと悪化します。このような不衛生な状態を放っておくと、要介護高齢者の場合は誤嚥性肺炎などのリスクも高くなります。

残根歯の処置

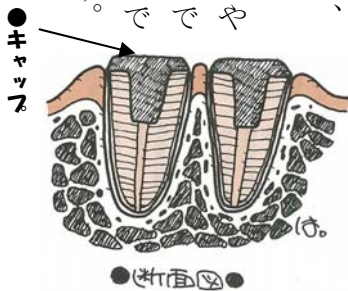
処置については、患者のお体や口腔内、また残根の数や根の状態などによってその方法は異なり、歯周病の進行や、残根歯が揺れて痛みがある場合は抜歯を行うことが多いです。この場合、麻酔使用や、切開による出血もあることから、お体への負担を十分考慮する必要があります。



※磨きにくく、食べかすがたまりやすい!!

※イラストは口腔ケアQ&Aより

次に比較的根がしっかりしている場合には、虫歯の進行を抑えるためにも根の治療を慎重に施した上(時間がかる場合があります)で、さし歯を立てたり、キャップ(根面板)をする治療があります。特に痛みも無く、お体への治療による負担が大きい場合は、抜歯や治療はせずに定期的な歯石の除去や口腔ケアを行うことで現状維持に取り組んでいくこともあります。



残根と入れ歯の使用

適切な処置のもと残根上に入れ歯を装着する場合、いくつかのメリットがあります。
① 歯を支える骨(歯槽骨)の吸収をある程度防ぐことが出来、義歯の安定度が増す
② 残根上で義歯を使用する場合、歯茎の上で使用する場合より、噛む力が大きくなる

③ 歯肉の粘膜より歯の根の周囲に感覚受容器が多いため、自分の歯で噛んだ感覚が得られる
以上のようなメリットを活かすためにも、残根とはいえ、日頃の手入れをしっかりと行い、一本でも多くの歯を残して頂きたいと思えます。

日頃の手入れの方法は？

とにかく歯垢を取り除くことが大切！
虫歯などでくぼみができている場合は毛先を上手く使って汚れを掻き出すように丁寧に磨きます。歯肉を傷つけないように軟らかい歯ブラシをお勧めします。

また、当院では「**ワンタフトブラシ**」を勧めています。腹の部分の毛束をカットした形体となつているためより深く差し込む事が可能で細い毛束が確実にフィットさせしつかりと磨くことができます。



【ワンタフトブラシ】
ご注文を承っています
お問い合わせ下さい